

## 山梨県災害史年表

年 月 日 (日本暦)				種 別	被 害 状 況 等	文 献	備 考 <sup>※)</sup>
113	景行天皇			霖雨	低地一帯湖水となる(日本武尊入国これを治めんのため国成の玉を埋めて退水を祈らせた)	⑥	
506	武烈 8年			大洪水		⑥	
718	養老 2年			大洪水	霖雨数旬に亘り諸川漲溢し、田畑荒廃する	⑥	
736	天平 8年			大洪水		⑥	
789	延暦 8年			大洪水		⑥	
825	天長 2年	5月		大洪水	白根山大崩壊し、且つ洪水氾濫し、国中一大湖水となり、水没せる人名田畑限りなし、飢餓者出る(この時勅使を向わしめ水神を祀り、一の宮、二の宮、三の宮の3社に命じ、竜王赤坂山下に水防祭を行う。これが今の幸祭である)	⑥	
833	天長 10年			洪水	御勅使川氾濫し原七郷荒蕪に帰す	⑥	
836	承和 3年			洪水		⑥	
864	貞観 6年	5月	25日	噴火	駿河国、富士山の西北が噴火し、熔岩が甲斐国八代郡の本栖水海に流れ込んだことを報告する(「日本三代実録」「日本紀略」)	⑦	864/7/6
864	貞観 6年	7月	17日	噴火	甲斐国、富士山が噴火し、熔岩が甲斐国八代郡の本栖水海及び水海を埋め、河口湖に迫ったことを報告する(「日本三代実録」「日本紀略」)	⑦	864/8/26
996	長徳 2年			大洪水		⑥	
1082	永保 2年			大洪水		⑥	
1119	元永 2年			洪水		⑥	
1125	元治 2年			洪水		⑥	
1133	長承 2年			洪水		⑥	
1231	寛喜 3年	9月		大洪水		⑥	
1242	仁治 3年	9月		大雨	河川氾濫、鯉沢方面被害甚だし	⑥	
1251	建長 3年			大水	田畑の被害尠なからず	⑥	
1258	正嘉 2年	8月		洪水		⑥	
1283	弘安 6年	9月		洪水		⑥	
1290	正応 3年			洪水		⑥	
1291	正応 4年			大風雨	被害最も多し	⑥	
1328	嘉暦 3年			洪水		⑥	
1331	元徳 3年	7月	7日	噴火	地震あり、富士山頂が100余丈崩れる(「南方紀伝」)	⑦	1331/8/19
1373	文中 2年	9月		大風雨		⑥	
1380	康暦 2年			洪水		⑥	
1384	元中 元年			大水		⑥	
1393	明德 元年	4月		大水		⑥	
1402	応永 9年			大水		⑥	
1418	応永 25年	9月		大風	諸国大木等折るなり	⑥	
1448	文安 5年			洪水		⑥	
1468	応仁 2年	8月		大洪水	御勅使川の流域被害殊に甚だし	⑥	
1475	文明 7年			大水		⑥	
1482	文明 14年			大出水	大風また大雨	⑥	
1486	文明 18年	9月		洪水		⑥	
1491	延徳 3年	7月		洪水	大風吹きまた大水出る	⑥	
1492	明応 元年	6月		大水	南都留郡谷村附殊に甚だしく、民戸流亡す(桂川流域)	⑥	
1495	明応 4年	8月		大風	作一本も実らず飢餓す	⑥	
1496	明応 5年	9月		大風雨	諸川増水甚だしく、郡内地方は一般に作物熟せず	⑥	
1498	明応 7年	9月		大風雨	低地は水、高地は風の被害あり	⑥	
1500	明応 9年	6月		大風		⑥	
1501	明応 10年	7月		大雨	昼夜大雨、大水出る	⑥	
1501	文亀 元年	7月		洪水	昼夜大雨降り、大水出て悉く水に成る	⑥	
1504	永正 元年			洪水		⑥	
1511	永正 8年	9月		大水	国々大水出る	⑥	
1512	永正 9年			豪雨	河川の増水夥しく、石和川大出水	⑥	
1518	永正 15年	8月		大風雨	大風吹いて作物悉く損す	⑥	
1520	永正 17年	9月		大雨	水損	⑥	
1528	享祿 元年	6月		大洪水	田畑人家の流某亡するもの多く餓死者を出す殊に郡内地方甚だしかった	⑥	
1533	天文 2年	6-9月		大雨	数回の大増水し穀物凶作に陥る	⑥	
1535	天文 4年	4月		大風	大風吹いて皆家を損す	⑥	
1536	天文 5年	6月		霖雨	言語同断餓死殊更疫病はやる	⑥	
1538	天文 7年	2月		大風	2,3月大風度々吹く	⑥	
1539	天文 8年	11月		大風雨	河川漲溢す	⑥	
1540	天文 9年	9月		大洪水	東山梨郡栗原村(日川、笛吹川)は全村砂礫荒原となる。また御勅使川暴れる	⑥	
1541	天文 10年	8月		大風雨		⑥	
1542	天文 11年	9月		大洪水	甲府盆地は泥砂の海と化し沃野も一木も青葉を留めず人畜の被害甚だし、御勅使川、釜無川氾濫暴れる(武田信玄の治水事業この年に始まる)	⑥	
1544	天文 13年	7月		大出水	富士川大出水、鯉沢附近被害多し	⑥	
1546	天文 15年	8月		大雨	洪水となり、殊に郡内地方山岳の崩壊多く、田畑作物の被害頗る大	⑥	
1550	天文 19年	8月		大出水	郡内地方に餓死者出る	⑥	
1554	天文 23年	9月		出水	降雨旬日に亘り各河川出水夥しく、人畜農作物の被害甚だし、殊に富士川流域に多し	⑥	
1555	弘治 元年	9月		風雨		⑥	
1558	永祿 元年	9月		類		⑥	
1559	永祿 2年			大雨	俄かに雪しろ出る	⑥	
1560	永祿 3年			霖雨		⑥	
1570	元亀 元年	9月		洪水	風雨加うるに洪水あり、南巨摩郡鯉沢町被害多し、富士川合流域	⑥	
1573	天正 元年			出水	大雨にて出水す	⑥	
1574	天正 2年			洪水	大雨連日に亘り八ヶ岳大崩落し各河川増水亦夥しく、北巨摩北部、中巨摩南湖村流失、民家田畑流亡す	⑥	
1583	天正 11年			大洪水	笛吹川大洪水起り、殊に甲府以東に氾濫多く、流失甚だし	⑥	
1593	文祿 2年			洪水	中巨摩郡下に田畑被害少なからず、三町村永源寺これがため類廃す	⑥	
1596	慶長 元年	7月		洪水		⑥	
1609	慶長 14年	9月		出水	大雨出水あり、中巨摩郡下被害多く、殊に大和田村被害甚大	⑥	
1614	慶長 19年	10月		大洪水		⑥	
1642	寛永 19年			大洪水		⑥	
1644	正保 元年	9月		出水	御勅使川氾濫し有野村他水21ヶ村水災に逢う	⑥	
1645	正保 2年			大出水	御勅使川笛吹川大出水す	⑥	
1653	承応 2年	9月		洪水	御勅使川氾濫し沿岸地方一帯に多大の被害を見た	⑥	
1659	万治 2年	8月		洪水	大風雨	⑥	



1859	安政	6年	9月		洪水		笛吹川差出水門また破壊す	⑥		
1860	万延	元年	9月		洪水		笛吹川差出水門より街道を押流し水節一帯水損を被る	⑥		
1862	文久	2年	9月		大洪水		大風雨、郡内出水あり	⑥		
1866	慶応	2年	9月		洪水		笛吹川増水、差出水門破れて下流村民水害被ること尠ならず、また郡内地方、河口湖氾濫す	⑥		
1868	明治	元年	7月		大洪水		田畑一円冠水、流失家屋の破壊等あり、また中郡一帯泥水広々たる河原となる、釜無御勅使川暴漲	⑥		
				17-18日	暴風雨	明治元年災	暴風出水の被害大、金川・日川の堤防切入、笛吹川は越水、富士川筋釜無川筋の被害が甚大かつた。5月・7月の被害死亡3人、怪我人12人、家屋流失26軒、流失潰屋101軒、潰屋30軒、半潰屋255軒	⑧	1868/9/3-4	
1869	明治	2年	7月	12-13日	暴風雨	明治2年災	死亡4人、怪我人3人、家屋流失18軒、潰屋117軒、半潰屋227軒、堤切所2549間、堤欠所27間、腹付欠崩228間、堰水門35ヶ所、橋梁流失17橋、中聖牛・大川倉299組、中梓・菱梓・沈床211組	⑧	1869/8/19-20	
1869	明治	2年	8月		洪水		大風雨	⑥		
1870	明治	3年	4/18, 7/18, 8月. 9/7-8		暴風雨		死亡3人、怪我人7人、家屋流失3軒、埋家8軒、皆潰家23軒、潰家663軒、潰社堂その他24軒、半潰家836軒、水浸195軒、堤切所158カ所・6226間、石積切所28カ所・1524間、堤洗欠所36カ所、石積溜出14カ所・140間	⑧	1870/5/18, 8/14, (8?), 10/1-2	
1870	明治	3年	10月		洪水			⑥		
1873	明治	6年	9月		大洪水			⑥		
1875	明治	8年	8月		大洪水		大風雨、富士川増水1丈7尺堤防決壊43ヶ所(延長846間)、破損45ヶ所(延長893間)農作物その他大被害	⑥		
				10日			人家破損62軒、その他破損40棟、堤防切所1306間、_所1647間、その他道路・橋梁・用悪水路・井堰が潰損	⑧		
1876	明治	9年	9月		大雨	南部町	富士川、戸栗川、船山川で堤防決壊。旧南部町では富士川5ヶ所、戸栗川5ヶ所、船山川2ヶ所で堤防破堤	⑨		
				14-17日	暴風雨		荒川、桂川、富士川、釜無川の増水甚だしく、死亡7人、流失家屋83戸、堤防決壊676ヶ所、破損293ヶ所、農作物その他被害甚大	⑥		
1877	明治	10年	10月	11日	出水・風災		死亡6人、人家流失83軒、破損72軒、水浸2971軒、土蔵厩納屋流失52棟、土蔵厩納屋破損100棟、水浸618棟、神社仏閣25棟、堤防切所676カ所・2212間、_所293棟・15777間、川除破損3060カ所、道路毀損56カ所・4783間、橋梁流失107カ所、橋梁毀損10カ所、用悪水路井堰類破損92カ所4257間	⑧		
1878	明治	11年	9月	14-15日	洪水		死傷者28人、居家潰2602戸、半潰1686戸、その他土蔵・物置小屋・水車・祠堂・学校など多くの全潰、半潰の被害をうけている(山梨県史)	⑧		
1878	明治	11年	9月	14-15日	洪水		笛吹川8尺、富士川1丈2尺増水、堤防決壊61ヶ所、破損34ヶ所、道路流没150ヶ所、笛吹川流域最も甚だしく、富士川之に次ぐ。午後猛雨盆を傾くが如く河川悉く増水	⑥		
1879	明治	12年	10月		洪水		堤防切所1058間、欠所1427間、石積切所100間、欠所35間、石腹付欠所245間、大中聖牛・大川倉流失162組、棚牛類流失132組、中梓菱梓・沈床類流失185組、道路欠所481間、深堀押出1016間、落橋30橋、橋台2ヶ所、仮橋8橋	⑧		
1880	明治	13年	10月		洪水		富士川8尺、堤防決壊17ヶ所、破損76ヶ所に及ぶ	⑥		
1881	明治	14年	9月		洪水		暴風雨、富士川1丈5尺、釜無川9尺、笛吹川7尺、堤防決壊220ヶ所、破損569ヶ所、農作物その他被害多く。災害は釜無川流域が最も甚だしく塩川之に次ぐ	⑥		
1882	明治	15年	8月		大洪水	道路	流水309箇所	③		
				9月		明治15年災	各河川悉く氾濫し堤防決壊4,411ヶ所、破損472ヶ所、道路流没309ヶ所、人家破損4,411戸、人民流亡6人、農作物その他多大の損害。塩川筋で最も惨状を極む	⑥		
				9/29-10/2			釜無川筋、塩川筋と笛吹川芦川の合流する三川落合の被害が大きく、合流点で逆流、溢水し上流へ2里さかのぼった地点まで被害が及んだ。富士川・桂川流域の被害は、死者6人、負傷者1人、流失家屋45戸、破損家屋1758戸、堤防欠潰4411ヶ所・30825間、堤防破損11473ヶ所・26772間、橋梁流出破損196ヶ所、道路欠潰930カ所・61510間、用悪水路破損1051カ所	⑧		
1882	明治	15年	10月		大風雨	南部町	町内各地で河川氾濫。旧南部町で堤防決壊4411ヶ所、道路流失709ヶ所、死者6人	⑨		
1883	明治	16年				明治16年災	道路欠潰30ヶ所・2244間、堤切所30ヶ所・465間、_所183ヶ所・1884間、橋梁流失77ヶ所・528間、用悪水路・井堰破損9ヶ所	⑧		
1884	明治	17年	9月		洪水	道路	橋梁損失大	③		
1885	明治	18年	7月		大洪水		相模川、酒匂の諸川暴漲し、堤防橋梁損じたり	⑥		
				8月	暴風雨	道路	各河川暴漲し、死傷者29人、家屋破損300戸、浸水2111戸、流失64戸、堤防決壊598、破損753、道路流没461、橋梁流失212、破損238、山岳その他崩壊1,900ヶ所	⑥		
1885	明治	18年				明治18年災	道路流没212箇所・橋梁流失238箇所	③		
						この年の災害は明治15年災に次ぐ大きなもの。死傷者29人、流失家屋64戸、道路欠潰461ヶ所・16667間、堤防欠潰598ヶ所・15965間、破損753ヶ所・13625間、橋梁流失212ヶ所	⑧			
1887	明治	20年	10月		洪水			⑥		
1888	明治	21年	7月	22-24日	洪水	明治21年災	死者3人、負傷者2人、建物破損76戸、道路欠潰85ヶ所・1349間、堤切所52ヶ所・1098間、欠所96ヶ所・2100間、橋梁破損23ヶ所、川除破損215ヶ所、用悪水路・桶類破損112ヶ所	⑥⑧		
1889	明治	22年	9月	10-11日	洪水	明治22年災	笹子峠以西の甲州街道の被害が大きく、穴山橋・船山橋も流失。河川は釜無川7尺増水、金川は数ヶ所欠潰、荒川・貫川の氾濫、大柳川・瀧沢川・市之瀬川の氾濫があり、桃林橋の流失。富士川・桂川流域の被害は、道路欠潰1765ヶ所・107480間、堤防切所842ヶ所・18798間、欠所1272ヶ所・33210間、橋梁流失792ヶ所、橋梁破損1364ヶ所、川除破損6242ヶ所、用悪水路破損2753ヶ所、土木被害額60万6932円	⑥⑧		
1890	明治	23年	8月		洪水		桂川流域に被害多し、河口湖氾濫	⑥		
				8/22-23, 9/17, 10/6		明治23年災	富士川・桂川流域の被害は、死者8人、負傷者16人、家屋流失3戸、家屋破損337戸、道路破損906ヶ所・23977間、堤防切所92ヶ所・3473間、堤防破損52ヶ所・7793間、橋梁流失156ヶ所・677間、橋梁破損286ヶ所・1095間、川除破損780ヶ所、用悪水路堰堤破損1433ヶ所、土木被害額8万7554円	⑧		
1891	明治	24年	9月	29-30日	台風	明治24年災	富士川・桂川流域の被害は、死者1人、家屋流失6戸、家屋破損92戸、道路破損404ヶ所・12016間、堤防切所166ヶ所・2560間、_所267ヶ所・5555間、橋梁流失119ヶ所・545間、橋梁破損246ヶ所・789間、川除破損333ヶ所、用悪水路破損118ヶ所・2782間、土木被害額4万2138円	⑥⑧		
				10月	28日(06:38)	地震(M8.0)	濃尾地震(震央: )岐阜県美濃中西部	甲斐で負傷3人、家屋全壊4戸、半壊8戸	②	
				12月	24日(05:35)	地震(M6.5)	震央: 山梨県東部	北都留郡で家・土蔵の壁落ち、地割れ、落石などあり。震度: 最大(推定4)	②	
1892	明治	25年	7月		大出水	道路	道路流没1538箇所・橋梁破損1125箇所	③		
							笛吹川筋(特に日川出水夥ただし)釜無川流域、御勅使川各堤防決壊多く、流失浸水多し、死者6人、家屋破損560戸、浸水4905戸、堤防決壊183ヶ所、破損305ヶ所、道路流没1,538ヶ所、橋梁破損1,125ヶ所、山岳その他崩壊多し	⑥		
1892	明治	25年	5, 6月, 7/22-23		降雨	明治25年災	富士川・桂川流域の被害は、死者6人、家屋流失412戸、家屋破損5252戸、道路欠潰115714間、堤防切所8055間、欠所6494間、橋梁流失511ヶ所、橋梁破損751ヶ所、川除破損982ヶ所、用悪水路堰堤破損772ヶ所、土木被害額18万8347円	⑧		
					洪水		釜無川氾濫(三中郡筋)、塩川、御勅使川堤防決壊	⑥		
1893	明治	26年	5月	5~8/18, 9/20, 10/14,	降雨	明治26年災	9/20は桂川流域降雨により河口湖・西湖冠水被害。富士川・桂川流域の被害は、道路欠潰9123間、堤防切所626間、欠所1244間、橋梁流失158ヶ所、橋梁破損93ヶ所、川除破損105ヶ所、用悪水路堰堤破損263ヶ所、土木被害額1万2575円	⑧		
1894	明治	27年	8月	10-11日	降雨	明治27年災	被害は釜無川沿岸が主で笛吹川筋は被害僅少。富士川・桂川流域の被害は、死者5人、家屋流失78戸、家屋破損1763戸、道路欠潰23503間、堤防切所4835間、堤防欠所6289間、橋梁流失144ヶ所、橋梁破損483ヶ所、川除破損782ヶ所、用悪水路堰堤破損1247ヶ所、土木被害額8万7669円	⑧		
				8月	10-14日	台風		北巨摩郡の須玉川で溺死者4人、家屋浸水、田畑浸水多数、堤防・道路に被害多数(山梨日日新聞)	①	
1895	明治	28年	5/21, 7/28, 9/27		降雨	明治28年災	被害は僅少。被害ヶ所163ヶ所、2138間、被害額1940円	⑧		
1896	明治	29年	9月			道路	道路損壊2445箇所	③		
						台風	釜無川の浅原橋陥落、中巨摩郡の忍村・花輪村(ともに現田富町)は一面浸水、藤川出水で甲府市内で浸水多数(山梨日日新聞)。釜無川流域被害膨大、特に塩川上流山岳崩落、塩川筋死者33人、家屋流失は損500戸、堤防決壊329箇所、道路流失2445箇所(山梨県政60年誌)	①		
					6-12日	明治29年災	釜無川欠潰、笛吹川沿岸の富士川流域の被害大。富士川・桂川流域の被害は、死者30人、負傷者39人、家屋流失258戸、浸水4303戸、道路欠潰76015間、堤防切所14872間、欠所16254間、橋梁流失641ヶ所、橋梁破損1071ヶ所、川除破損1099ヶ所、用悪水路堰堤破損3234ヶ所、土木被害額43万9931円	⑧		
1897	明治	30年	9月	2-9日	台風		笛吹川石和町内で決壊一面沼湖、釜無川支流滝沢川・坪川の堤防決壊し濁流は小笠原市街中央を一掃し各村を流す。死者1人、行方不明2人等。住家全半壊5戸、田畑浸水610ha、堤防決壊多数(山梨日日新聞)	①		
				9/8-9, 9/28-30	台風	明治30年災	富士川・桂川流域の被害は、死者5人、負傷者4人、家屋流失33戸、浸水家屋1151戸、道路欠潰20632間、堤防流失1591間、堤防欠所5753間、橋梁流失200ヶ所、橋梁破損292ヶ所、川除破損456ヶ所、用悪水路堰堤破損2338ヶ所、土木被害額4万7434円	⑧		
1898	明治	31年	4月	3日(06:09)	地震(M5.9)	震央: 山梨県中部	南巨摩郡睦合村(南部町)で山岳(安部岳)の崩壊、地面の亀裂、石碑石塔の転倒、家屋にも多少の被害。震度: 最大V、甲府V	①②		
				6月	4-5日	台風		風水中	⑥	
				8~9月	8/30-9/7	台風		河川氾濫、山岳の崩壊はなほなだしく北巨摩郡下最も被害大、死者150人、家屋流失450戸、田畑流失1,200ha(山梨県政60年誌)	①	
				9月	4-7日	台風		豪雨滝の如く河川悉く氾濫し、山岳崩壊甚だしく、北巨摩郡下最も被害大、中巨摩郡、東八代郡これに次ぐ(侍従差遣さる)、死者150人、流失家屋450戸	⑥	
				9月	6-7, 24-26日	台風	明治31年災	釜無川筋の被害特に大きい。富士川・桂川流域の被害は、死者172人、負傷者221人、家屋流失2123戸、家屋浸水11528戸、道路欠潰121522間、堤防切所38158間、欠所25925間、橋梁流失641ヶ所、橋梁破損1858ヶ所、川除破損1116ヶ所、用悪水路堰堤破損2599ヶ所、土木被害額180万2232円	⑧	
1898	明治	31年	9月		大雨		富士川、戸栗川、船山川、小川、塩崎川各流域で堤防決壊、耕地流失、家屋浸水、大崩壊、土石流、船舶流失。旧南部町で堤防決壊881間、家屋2651決壊。旧南部町では堤防決壊881間、耕地流失2町9反、家屋流失26棟、家屋浸水62棟、船舶流失10艘、道路欠所192間、橋梁流失1ヶ所、温井川斜面崩壊	⑨		
					3・6・7・8・9・10月	降雨	明治32年災	富士川・桂川流域の被害は、家屋流失55戸、家屋浸水1529戸、道路欠潰35207間、堤防切所5010間、欠所8786間、橋梁流失363ヶ所、橋梁破損416ヶ所、川除破損468ヶ所、用悪水路堰堤破損575ヶ所、土木被害額16万6713円	⑧	

1899	明治	32年	9月	5-8日	台風		台風が甲府市近傍を通過。住家浸水60数戸、玉穂村乙黒耕地一面浸水（山梨日日新聞）	①
			10月	5-7日	台風		稲果樹その他大きな被害	⑥
1900	明治	33年	1月	17日(00:14)	地震(M6.3)	震央：山梨県南部	震央付近で軽微な被害。震度：最大IV、甲府IV	①
			8/21, 9/27-28, 10/9		台風	明治33年災	富士川流域の被害。死者2人、負傷者5人、家屋流失113戸、家屋浸水445戸、道路欠陥9966間、堤防切所1434間、欠所4918間、橋梁流失140ヶ所、橋梁破損296ヶ所、川除破損349ヶ所、用悪水路堰破損567ヶ所、土木被害額6万9626円。	⑧
			9月	22-30日	台風		強風による被害大。死者6人、負傷者3人、家屋全壊48戸、半壊25戸、家屋浸水数百戸（山梨日日新聞）	①
1901	明治	34年	7/1, 12/26		出水	明治34年災	富士川流域の被害は、死者1人、家屋流失5戸、家屋破損60戸、道路欠陥875間、堤防切所92間、欠所173間、橋梁流失33ヶ所、橋梁破損46ヶ所、川除破損40ヶ所、用悪水路堰破損184ヶ所、土木被害額6297円。桂川流域の被害は、道路欠陥137間、土木被害額307円。	⑧
1902	明治	35年	5月	25日(20:29)	地震(M5.4)	震央：山梨県東部	南都留郡より神奈川県にわたって地面に亀裂、土蔵等に多少の破損、東山梨郡日陰村（大和町）に小亀裂等の軽被害。震度：最大V、甲府V	①
			6月	13日	出水		桂川流域の被害は、道路里道84ヶ所・1440間、護岸欠陥4ヶ所、護岸破損162ヶ所（天然河岸）、橋梁流失14ヶ所、水制破損2箇所（砂防）ほか、土木被害額3121円	⑧
			8月	3日、7日	出水		富士川流域の被害は、道路里道8ヶ所、道路里道6ヶ所、堤防切所12ヶ所・186間、堤防欠所5ヶ所・310間、護岸欠陥4ヶ所・88間、護岸破損8ヶ所・5間、橋梁流失27ヶ所、水制破損45ヶ所、土木被害額7779円	⑧
1903	明治	36年	7月	9日	降雨		桂川流域で被害、河口湖が増水し家屋被害はあったが被害は僅少、家屋流失7戸、家屋破損38戸、家屋浸水65戸	⑧
			9月	23-24日	出水		富士川流域で被害は、家屋浸水48戸、道路欠陥1887間、堤防護岸2992間、橋梁破損102ヶ所、砂防施設18ヶ所、用悪水路25ヶ所、水制破損54ヶ所、土木被害額4万9339円	⑧
1904	明治	37年	7月	8-13日	台風		被害は東八代・中巨摩・東山梨郡に及びり溺死1人、行方不明1人、住家浸水は甲府市南部で著しく302戸、ほか99戸が浸水被害、浸水田畑1,415ha	①
			7月		大雨	南部町	佐野川流域、井出、十島で堤防流失、耕地流失工場流失。旧南部町では、堤防流失（甚大）、耕地流失（甚大）、原館山工場流失2棟	⑨
			7/9-12, 9/15-17		豪雨	明治37年災	富士川・桂川流域の被害は、家屋破損75戸、家屋浸水1704戸、道路欠陥440ヶ所、堤防流失欠陥432ヶ所・10019間、橋梁破損540ヶ所、砂防施設4ヶ所、用悪水路堰破損120ヶ所、水制破損207箇所、土木被害額10万6382円	⑧
1906	明治	39年	7月	12-17日	台風		荒川の被害大、三ツ水門付近より決壊、甲府市南部の浸水2m以上、上流清川・陸沢両村（敷島町）の家屋十数戸流失。これに次ぎ塩川の被害大、韭崎町付近の被害最も大（山梨県政60年誌）。中巨摩郡陸沢村で山岳崩壊のため行方不明3人、住家全半壊15戸、家屋流失18戸、家屋浸水579戸以上、田畑浸水無数（山梨日日新聞）	①
				13-16日		明治39年災	富士川・桂川流域の被害は、家屋破損75戸、家屋浸水1704戸、道路欠陥440ヶ所、堤防流失欠陥432ヶ所・10019間、橋梁破損540ヶ所、砂防施設4ヶ所、用悪水路堰破損120ヶ所、水制破損207箇所、土木被害額10万6382円	⑧
1907	明治	40年	8月			道路	死地に陥り大厄	③
						洪水	笛吹川左岸流域で被害大、石和町付近は一部の川原と化して孤立した被災者が多数でた	③
						台風	50万県民挙げて死地に陥り大厄、大小河川氾濫・山腹崩壊おびただしい（有史以来の大被害）。最も被害大は日川・重川・御手洗川流域で日川村、一宮村で一部は巨礫累々たる河原と化した。死者232人、負傷者189人、家屋全壊1267戸、半壊1728戸、家屋流失4500戸、床上浸水10455戸、堤防決壊98916箇所、破損52,918箇所、道路被害492655箇所、橋梁3,199箇所、田畑80,920、宅地被害7,392ha、山崩れ3,353箇所（山梨県政60年誌）	①
						明治40年災	空前の大被害。死者233人、負傷者189人、家屋全壊1267戸、半壊1728戸、破損4428戸、流失4500戸、浸水15157戸、堤防欠陥54910間、破損21937間、道路流失・埋没154369間、破損29368間、橋梁流失1686ヶ所、破損1513ヶ所、山崩3353ヶ所（山梨県水害史）	⑧
				大雨	南部町	富士川、戸栗川、船山川、小川、塩崎川各流域で堤防決壊、耕地流失、家屋浸水、道路流失、斜面崩壊。旧南部町で堤防決壊339間、耕地流失5町2反、家屋流失6棟、道路流失754間、斜面崩壊15町5反	⑨	
1908	明治	41年	8月	6-15日	台風		被害は7日から始め全県下に及び、笛吹川は堤防決壊し蓬沢村（甲府市）は一大湖水、床上浸水多く家屋の傾斜せるもの、いまにも倒れんとするもの等あり、死者1人、家屋被害・堤防決壊・橋梁流失・田畑冠水多数（山梨日日新聞）	①
			12月	28日(17:08)	地震(M5.8)	震央：山梨県中部	甲府市付近で壁の亀裂、石碑転倒等の軽被害。震度：最大V、甲府V	①
1910	明治	43年	8月			道路	被害甚大40年に劣らず	③
						台風	県下一面大洪水、荒川・塩川が大氾濫、甲府市を始め盆地一帯の被害甚大、死者24名	③
				2-17日		豪雨連日にわたり県下一面大洪水。荒川・塩川が大氾濫し甲府市はじめ盆地南部一帯の被害甚大、氾濫面積は40年に劣らず大きい、死者24人、家屋被害・耕地被害・堤防決壊多数（山梨県政60年誌）	①	
				大雨	南部町	富士川流域、北坂、神原前田、井出区で道路破損、畑地流失、耕地浸水、道路埋没、堤防破損。旧南部町では北坂道路破損、神原前田畑地流失5,6町歩、井出地区で田畑流失4反、耕地浸水4町歩、道路埋没31間、堤防破損93間等	⑨	
1911	明治	44年	8月	3-5日	台風		飯沢町の被害大、床上浸水237戸、床下浸水42戸。増穂村で溺死者2人、東八代郡で行方不明1人、甲府市付近で床上浸水170戸、床下浸水377戸農作物被害5,124haを超え被害額も31万8102円を上回る	①
						大雨	南部町	佐野川流域で堤防決壊。佐野川筋が相当荒れた模様
1912	大正	元年	9月	22-23日	台風		中巨摩郡で被害甚大、死者54人、負傷者127人、家屋全壊2601戸、半壊1946戸（山梨日日新聞）	①
								死者34人、負傷者10人
1913	大正	2年	8月	26-27日	台風		風少	⑥
			10月	1-4日	台風		季節風相応の大雨を起し、烈風を測る状況を呈した	⑥
1914	大正	3年	8月	12-13日	台風		南都留郡谷村地方と東山梨郡神金方面で被害大、家屋倒壊5戸、半壊3戸家屋浸水70戸以上、農作物の被害甚だしい（山梨日日新聞）	①
			8月	28日	水害	大正3年災害	死傷者	⑧
			8月	29-30日	台風		県の中・西部地方が被害の中心だが、北都留郡の笹子川決壊などで死者8人、家屋倒壊・流失6戸、家屋浸水多数（山梨日日新聞）	①
			8月		台風	南部町	富士川流域、東町、柳島、戸栗川、北坂で堤防決壊工場流失、橋梁破損。旧南部町では柳島諏訪製糸場流失、戸栗川橋損壊、東町裏以南桑園浸水1町5反、北坂県道流失30間	⑨
1915	大正	4年	6月	20日(01:01)	地震(M5.9)	震央：山梨県東部	甲府市で地下水道管の亀裂4-5箇所、一時断水。震度：最大III、甲府不明	①
			9月	11-15日	大雨		水少し	⑥
1917	大正	6年	9月	9/23-10/1	台風		風水中	⑥
1918	大正	7年	6月	26日(22:46)	地震(M6.3)	震央：神奈川県	南都留郡谷村町（都留市）で石垣崩壊、石塔転倒、土蔵の壁亀裂・剥離等多く、南巨摩郡飯沢町でも墓石転倒、土蔵の壁脱落あり、甲府市付近で水道管破裂7-8箇所。震度：最大IV、甲府II	①②
			9月	23-24日	台風		西八代郡古閑村（下部町）で倒壊した住家の下敷きになり死者4人、負傷者4人（山梨日日新聞）	①
1919	大正	8年	9月	10-16日	台風		県内一円の被害甚大、死者15人、負傷者5人、家屋全壊189戸、半壊30戸、床上浸水30戸、床下浸水22戸、堤防決壊30箇所、田畑浸水多数（山梨日日新聞）	①
1920	大正	9年	8月	2-6日	台風	道路	南都留郡下、被害甚大	③
								南・北都留郡下で豪雨被害多い、道志村で道志川氾濫、道坂峠の日向山が一大音響と共に土砂岩石崩壊し、一部落ほとんど全滅、死者15人、行方不明3人、負傷者25人、家屋被害234戸（山梨日日新聞）
						大正9年災害		⑧
1921	大正	10年	9月	4-9日				⑥
1922	大正	11年	8月	23-26日	台風		県内各地に被害続出、東山梨郡下で被害多し、死者55人、負傷者3人、家屋全壊・半壊・流失5戸、床上浸水202戸、堤防決壊12箇所、田畑浸水97ha（山梨日日新聞）	①
1923	大正	12年	6月	8-9日	梅雨前線		甲府盆地で被害多く、死者1人。平等川が氾濫し床上浸水4戸、床下浸水35戸（山梨日日新聞）	①
			9月	1日(11:58)	地震(M7.9)	関東大地震（震央：相模灘）	死者20人、負傷者116人、家屋全壊1761戸、半壊4992戸、低埋地軟弱地質地域の道路沈下・亀裂、橋梁墜落、堤防沈下。地割れ・崩壊、山・がけ崩れ等多数。地盤の液化化現象3箇所発生。震度：最大VI、甲府VI	①②
			9月	1日(16:38)	地震(M6.8)	震央：山梨県東部	震央付近で多少の被害。震度：最大IV、甲府不明	①
			9月	14-15日	台風		中巨摩・東八代・南都留郡で被害甚大、家屋倒壊3戸、埋没15戸、流失4戸、土砂流入20戸、浸水743戸、耕地埋没210ha、浸水600ha、堤防決壊311間（山梨日日新聞）	①
			10月	4日(00:54)	地震(M6.4)	震央：神奈川県	甲府市で地下水道管の亀裂4-5箇所、一時断水。震度：最大III、甲府不明水道管破壊、古府中・高台・紅梅町・橋町方面で一時断水（山梨日日新聞）。震度：最大IV、甲府IV	①
1924	大正	13年	1月	15日(05:50)	地震(M7.3)	震央：神奈川県	【丹波地震】。負傷者30人、家屋全壊10戸、半壊87戸破損439戸、国道80号破壊、水道破損60箇所。震度：最大IV、甲府IV	①②
1925	大正	14年	8月	14-18日	台風		甲府市・西山梨郡（甲府市）の被害大。千代田村（甲府市）では豪雨のため山崩れが発生（山梨日日新聞）。死者6人、負傷者2人、家屋全壊6戸、半壊6戸、家屋浸水1650余戸	①
								大正14年災害
1926	大正	15年	9月	3-4日	台風		県内全般に被害。甲府市内の製糸工場や各種工場の煙突の多くが破壊、死者1人、負傷者4人、家屋全壊59戸、半壊89戸、家屋浸水7戸、橋梁流失3箇所、被害額3万余円。ぶどう・稲作の被害も多し（山梨日日新聞）	①
1928	昭和	3年	10月	3-8日	台風		被害は甲府市、中巨摩・北巨摩郡を中心に負傷者2人、床下浸水32戸、田畑流失・浸水124ha以上（山梨日日新聞）	①
1929	昭和	4年	7月	27日(07:48)	地震(M6.3)	震央：山梨県東部	北巨摩郡塩崎村（双葉町）の寺の屋根瓦落下、負傷者1人。大月駅舎の壁2間崩れ屋根瓦被害。甲府市内某銀行ガラス戸破壊。（山梨日日新聞）。震度：最大V、甲府IV	①②
			10月	25-26日	台風		風少	⑥
1930	昭和	5年	7月	7/30-8/2	台風		水少	⑥
1931	昭和	6年	6月	17日(21:09)	地震(M6.3)	震央：埼玉県西部	甲府市で水道管破損2箇所、山田町で浸水家屋8戸（山梨日日新聞）。震度：最大V、甲府IV	①
			9月	16日(21:43)	地震(M6.3)	震央：山梨県東部	父子で水道管破裂1件、電話一部不通、北都留郡初狩村（大月市）で堤防決壊1箇所、富浜村（大月市）で石垣崩壊1箇所。（山梨日日新聞）。震度：最大IV、甲府IV	①②
			10月	13-14日	台風		水少	⑥
1933	昭和	8年	8月	19-20日	雷雨、大雨		甲府市の濁川が氾濫し家屋の浸水おびただし、甲府市の床上浸水160戸、床下浸水622戸（山梨日日新聞）	①
1934	昭和	9年	9月	18-24日	室戸台風		死者13人、負傷者27人、家屋全壊507戸、半壊1522戸、農作物被害25,892ha、葡萄全滅状態、被害総額395万6960円	①④

			9月	24日 (13:53)	地震(M5.2)	震央：山梨県東部	土盛りした道路亀裂、所々がけ崩れ等の軽被害。震度：最大Ⅲ、甲府Ⅱ、河口湖Ⅲ	①
			8月	8/24-9/6	台風		死者8人、負傷者16人、家屋全壊2戸、半壊2戸、床下浸水28戸、田畑浸水60ha以上(山梨日日新聞)	①
			8月	27-29日	台風		全県下に亘り成熟期にあった葡萄果樹、農作物等被害著しく、総額500万円	⑥
1935	昭和	10年	9月	21-26日	台風	道路	全県下被害甚大	③
						洪水	全県下被害、特に富士川・塩川・荒川・御勅使川筋一帯で甚大な被害、死者39人、家屋全半壊・流出223戸	③
							死者39人、負傷者21人、家屋全・半壊116戸、流失107戸、橋梁163箇所、堤防・道路の流失・決壊・破損1112箇所、田畑流失・浸水5,483ha	①④
					前線、台風		富士川、塩川、荒川、御勅使川筋一帯が激甚で県下一円に甚大な被害を与えた。即ち堤防決壊流失道路橋梁の流失が最大	⑥
					昭10年災害		富士川・塩川・荒川・御勅使川筋荒れる。被災カ所は健康時、町村工事を併せて1600ヶ所に及び、溪流山腹砂防の被災が多い	⑧
							笹子峠の山崩れで14人が生き埋めとなり死者6人、負傷者8人。そのほか死者1人、床上浸水71戸、床下浸水2620戸、田畑浸水283ha、橋梁流失32箇所、堤防決壊27箇所、被害総額160万円(山梨日日新聞)	①
1936	昭和	11年	9月	26-27日	台風		東山梨、東八代郡の笛吹川、金川日川の流域被害多し、死者22人	⑥
					大雨	南部町	戸栗川、船山川、内船区で堤防流失、橋梁流失。旧南部町では内船区島尻堤防流失数十メートル、南部橋流失	⑨
							昭11年災害	⑧
1937	昭和	12年	7月	14-17日	梅雨前線		雨量は甲府盆地内部で著しかった。死者2人、負傷者7人。南アルプスで登山者行方不明1人、床下浸水178戸、田畑浸水130ha以上(山梨日日新聞)	①
							盆地東側の山脈を境とし、盆地中部に多く、北都留郡一部及び北部山間地域は以外に少なかった	⑥
			6月	28-30日	台風、梅雨前線		全権で河川の増水、氾濫、土砂崩壊等。死者2人、家屋全壊5戸、半壊6戸、床下浸水336戸農業4,500ha、被害総額142万6800円	①
			6-8月		台風、低気圧、梅雨前線		富士五湖の水位上昇、山中湖は忍野村の耕地をほとんど全滅せしめ、河口湖湖岸道路は冠水とともに周囲各村の浸水被害が多	①
			8月	1-5日	低気圧		水中	⑥
			8月	8/31-9/3	台風		県東部・富士五湖地方で被害大。七保村(大月市)で家屋倒壊し死者2人、南巨摩郡本建村(早川町)でも死者1人、ほかに行方不明1人、床上浸水11戸、床下浸水44戸、山中湖の増水が進み中野(山中湖村)、忍野村両村の田畑浸水は500haあまり(山梨日日新聞)	①
							昭13年災害	⑧
1941	昭和	16年	7月	19-22日	台風		死者1人、甲府盆地の湿地帯を中心に2,000haを超える田畑浸水(山梨日日新聞)	①
1942	昭和	17年	9月	18-23日	台風		死者1人、家屋全・半壊3戸、家屋浸水251戸	①
			8月	4-5日	低気圧		死者2人、家屋全・半壊80戸	①
			10月	2-3日	台風		被害不明(総降水量：河口湖194.3mm、甲府105.1mm、日最大降水量：河口湖174.3mm)	①
			8月	6-8日			被害不明(総降水量：甲府130.3mm)	①
1944	昭和	19年	12月	7日 (13:35)	地震(M7.9)	東南海地震(震央：紀伊半島南東沖)	甲府市付近で負傷者2人、全壊住家8戸、非住家18戸、半壊住家6戸、非住家2戸、橋梁落下1箇所、屋根瓦落下29箇所、馬1頭死亡、人の軽傷2人(山梨日日新聞)。震度：最大Ⅵ、甲府Ⅴ、河口湖Ⅳ	①②
			10月	3-5日	台風	道路	全県下被害甚大	③
					前線、台風		各河川代増水破堤氾濫流失夥しく即ち芦川筋は最も暴威を振り、また中巨摩郡滝沢川及び東八代の滝戸川も決壊した。また各地山の崩壊多し	⑥
					台風		戦時中の森林過伐による山林荒廃から各地で山地崩壊。死者20人、行方不明16人、負傷者12人、家屋全壊68戸、半壊133戸、流失153戸、橋梁流失150箇所、道路破壊241箇所、田畑流失・浸水2,543ha	②③
				7-11日	台風	アクネ台風	水少	⑥
			9月	13-15日	台風	道路	全県下被害甚大	③
					カスリン台風		笛吹川上流・金川・日川・御手洗川・笹子川に被害大、死者16人、負傷者8人、住家全壊・半壊122戸、流失44戸、橋梁流失など土木関係1,333箇所、被害総額4億4,701万円(山梨県政60年誌)。特に東八代郡浅間村は各所に被害甚大、なお大橋梁の流失多し	①④⑥
			6月	19-20日	梅雨前線		土木被害は昨年の台風の復旧工事の未完了な東東部・南部に多く1500万円。家屋浸水は笛吹川、荒川の合流点付近が多く、床上浸水117戸、床下浸水80戸。農業被害は麦類、馬鈴薯、水稲、野菜類に3300万円被害総額5300万円	①
			9月	15-16日	台風	道路	家屋流失浸水	③
						アイオン台風		田畑流失・埋没の被害は全県3,007ha、死者1人、負傷者1人、家屋全壊13戸、流失8戸、床上浸水533戸、床下浸水3080戸、堤防破壊77箇所、道路被害63箇所、橋梁流失71箇所
							笹子川筋に多く、大月市地内と北巨摩一部と東山梨郡下大	⑥
			6月	16-22日	台風	デラ台風	住家半壊1戸、床上浸水13戸、床下浸水37戸、耕地の流失・埋没等1,440ha、道路決壊50箇所、堤防23箇所、鉄道不通4箇所	①
							県南部に多く北に行くにしたがって少なかった	⑥
			8月	8/31-9/2	台風	キティ台風	甲府盆地、南・北都留郡で被害大、負傷者1人、住家全壊5戸、床上浸水14戸、床下浸水48戸、耕地被害299ha、堤防、道路など公共土木施設214箇所	①
							県南部富士川筋及び重川、日川、笹子川筋が最も多い	⑥
			9月	21-23日	低気圧、前線		死者1人、住家半壊・流失2戸、床上・床下浸水12戸	①
			6月	6-14日	梅雨前線		南巨摩郡下西八代郡の南部が最も多く中巨摩郡西部に続く	⑥
			6月	8-16日	梅雨前線		笛吹市で死者1人、行方不明1人、北巨摩・西八代郡で住家倒壊2戸、流失1戸、床上・床下浸水は甲府市を中心に272戸、大麦・小麦の被害3,666ha、土木被害143箇所	①
			7月	27-30日	台風	ヘリーオン台風	南都留郡谷村町、東八代郡石和町で被害が大きく、家屋浸水13戸、田畑流失・浸水150ha(山梨県政60年誌)	①
			8月	2-7日	熱帯低気圧、前線		笛吹川上流部・重川・田草川筋で被害大、死者7人、行方不明1人、家屋流失・倒壊8戸、家屋浸水1471戸、田畑流失201ha、浸水1,500ha、土木被害7億3000万円、山林被害9700万円、農作物被害550万円(山梨県政60年誌)	①
			6月	23-24日	台風、梅雨前線	ダイナ台風	家屋流失3戸、道路決壊50箇所、995万円。橋梁流失6箇所、341万円。堤防被害12箇所、784万円。田畑被害600ha、農作物被害620万円	①
			7月	9-15日	梅雨前線		風水少	
			7月	29日	低気圧、前線		南アルプス北岳で高校生3人、仙丈岳で3人が遭難、死者6人	①
			9月	23-25日	台風(13号)		家屋農作物被害大	③
							住家全壊3戸、半壊150戸、流失3戸、床上浸水13戸、床下浸水100戸、強風による農作物被害(果樹・大豆・トウモロコシなど)3,053ha、田畑の被害6,192ha。道路270箇所、橋梁48箇所など土木被害487箇所被害総額3億8049万円	①
							暴風による農作物果実に被害あり県下全般に亘る、風害は山岳地方甚大、出水は県南地方特に早川入り及び奥地の西山村に至って甚大	⑥
				25日		昭28年災害		⑧
			6月		前線	道路	道路破損2箇所・橋梁破損1箇所	③
			8月	18-20日	台風(5号)	道路	橋梁破損4箇所	③
							河川護岸決壊・破壊27箇所、2000万円。道路決壊・土砂崩れ69箇所、1700万円。橋梁流失・一部欠損4箇所、96万円。	①
			9月	17-18日	台風(14号)	道路	道路破損12箇所・橋梁破損1箇所	③
							県南部・西部山岳を中心に大雨、死者3人、行方不明2人、負傷者2人、住家全壊1戸・半壊4戸、床上浸水19戸、床下浸水296戸、田畑流失・冠水955ha、河川178箇所、道路301箇所、橋梁39箇所など土木被害2億7102万円	①④
			9月	25-28日	台風(15号)	洞爺丸台風	死者1人、負傷者1人、住家前倒4戸、半壊10戸	①
			7月	21-22日	雷雨		北巨摩郡長坂町・大泉村に豪雨有り、高川が氾濫し小海線高川鉄橋を押し11箇所。山梨市で降ひょう152haに1372万円の被害	①
			9月	27-30日	台風(22号)、前線		連日大雨。河川・道路88箇所、被害額6007万円	①
			10月		台風	道路	道路破損2箇所	③
			10月		台風	道路	道路破壊11箇所	③
			9月	25-27日	台風(15号)	道路	道路破壊24箇所	③
							被害は県北西部、鎌無川から早川筋が多かった。死者1人、床上浸水26戸、床下浸水174戸、農作物3,481ha、林地206箇所、1億844万円。農業用施設に4977万円の被害	①④
							県西部南アルプス山系南西斜面最多雨240mm以上、次いで南東岳麓盆地に害して少なかった一時風強し	⑥
			3月		低気圧	道路	道路損壊1箇所	③
			6月	26-29日	台風(5号)、梅雨前線		がけ崩れて家屋全壊4戸、半壊2戸、床下浸水11戸、田畑流失・埋没・冠水174ha	①
			9月		台風	道路	道路損壊3箇所	③
			9月	9-12日	前線	道路	橋梁流失4箇所	③
							水少	
			7月	20-23日	台風(11号)	道路	道路損壊16箇所	③
							南巨摩・南都留郡で被害が多く、行方不明1人、負傷者2人、家屋全壊3戸、床上心酔5戸、油化した浸水98戸、公共土木施設89箇所、農作物313ha	①
							道路損壊18箇所	③
			8月		台風	道路	橋梁流失4箇所	③
1958	昭和	33年	8月			道路	道路損壊62箇所	③

			9月	16～18日	台風(21号)	道路	橋梁流失29箇所・道路損壊22箇所	③			
				17～18日			死者2人、負傷者6人、住家全壊18戸・半壊10戸・流失5戸、床上浸水4戸、床下浸水94戸、堤防決壊31箇所、道路損壊62箇所、橋梁流失29箇所、水稲3,169ha、畑作1,433ha、果樹313ha。そのほか電力・鉄道通信施設等被害。被害総額7億7000万円	①④			
			9月	22～26日	台風(22号)	狩野川台風	負傷者1人、床下浸水109戸、公共土木67箇所、農作物1,764ha、被害総額2億500万円	①			
1959	昭和	34年	8月	12～14日	台風(7号)	洪水	県下で大被害、死者90人、負傷者794人、家屋流出・全半壊6,535戸、浸水家屋14,445戸、水陸稲16,000ha・6,400t	③			
							明治40年8月台風以来の大災害。死者66人、行方不明24人、負傷者794人、家屋全壊1659戸・半壊4574戸、一部破損31640戸、流失303戸、床上浸水2615戸、床下浸水11830戸、河川944箇所、道路744箇所、橋梁356箇所、耕地流失・埋没2,173ha、そのほか農林業関係被害甚大。被害総額314億7300万円、災害救助法適用48市町村	①④			
							未曾有の大暴風各河川の大氾濫続出、家屋田畑の流失と多数の犠牲者を出した。また、倒壊千数百戸その他甚大な県下多数の倒壊家屋を含む風害が大、7000戸に及ぶ、早川流域を中心とした県西部に特に被害多、葡萄はじめ一般農作物も甚大	⑥			
				14日		昭和34年災害	県下大被害をうける				
				8～9月		台風	道路	道路損壊936箇所・橋梁流失417箇所	③		
				8～9月		台風	道路	道路欠損13箇所	③		
				8月		台風(7号)			⑥		
								旧南部町全域で被害。堤防決壊22ヶ所、耕地流失冠水50町、橋梁流失12ヶ所、道路決壊97ヶ所、山地崩壊58ヶ所、罹災世帯480戸、軽傷16人	⑨		
								台風7号災害の復旧中に再度被災、蕨崎市蕨崎本町で破堤(L=300m)、田富村臼井阿原で高水敷・堤脚部浸蝕(L=200m)	③		
						9月		台風(15号)	伊勢湾台風	蕨崎市では7号台風で釜無川の川床が上がっていたため急増堤防が決壊し、市街地を本流が流れた。風による被害は甲府盆地中心部から県南部山岳地帯で大きく、中巨摩郡田富村・玉徳村・昭和村、甲府市の一部、東八代郡豊富村、西八代郡三珠村・市川大門町、南巨摩郡中富町などで、国道に家が倒壊しになる惨状が各所で見られ、倒れた家屋の下敷きとなった死亡者・重軽傷者は100人あまり。死者15人、負傷者105人、家屋全壊1494戸・半壊5565戸、一部破損21516戸、流失44戸、床上浸水502戸、床下浸水963戸、河川192箇所、道路192箇所、橋梁61箇所、耕地流失・埋没139ha、そのほか農作物にも被害甚大。被害総額89億7300万円、災害救助法適用49市町村	①④
					南部町	旧南部町全域で風害・水害。堤防決壊22ヶ所、耕地流失冠水50町、橋梁流失12ヶ所、道路決壊97ヶ所、山地崩壊58ヶ所、罹災世帯480戸、軽傷16人	⑨				
						戦後最大の被害発生、公共土木施設被害2063ヶ所、被害額110億円余、死者・負傷者1004人	⑧				
1960	昭和	35年	8月			道路	道路欠損1箇所	③			
1961	昭和	36年	4月	14～16日	低気圧	道路	道路欠損2箇所	③			
							南岸低気圧。南巨摩郡中富町の富士川で増水のため工事用の吊り橋から作業人夫4人が流され行方不明1人。増水や土砂崩れで道路4路線で通行止め	①			
				6月		前線	道路	道路損壊309箇所・橋梁流失95箇所	③		
						台風	道路	道路損壊1箇所	③		
						梅雨前線・低気圧	洪水	釜無川・笛吹川・富士川の護岸欠損など多数	③		
					6月	23～29日	梅雨前線	死者1人、行方不明1人、負傷者5人、家屋全壊2戸、半壊10数戸、死者5人。また笛吹川本流が高水位となり、平等川・瀨川が逆流し、甲府市南部で床上浸水200戸、床下浸水1700戸。国道20号・141号、国鉄身延線・小海線が土砂崩れで不通。死者5人、行方不明1人、負傷者5人、家屋全壊4戸・半壊15戸、流失5戸、床上浸水837戸、床下浸水5205戸、河川57箇所、道路430箇所、橋梁流失72箇所、土木・林業被害額18億9892万円	①④		
						前線、台風(36.6豪雨)		3市町村にわたり死者5人、行方不明1人、流失家屋5戸、床上浸水837戸があり、特に鼓川の山津波坪川の決壊があった	⑥		
					9月	15～16日	台風(18号)	第2室戸台風	県南東部と富士五湖地方被害大。負傷者18人、家屋全壊44戸・半壊211戸、床上浸水5戸、床下浸水50戸、田畑冠水305ha、河川68箇所、道路154箇所、橋梁8箇所、農作物13,041ha等、被害額8億8906万円。峡東郡内方面の風による被害	①④⑥	
						6・9月		昭和36年災害		⑧	
					1963	昭和	38年	6月		道路	道路損壊山崩れ若干
			6月		台風	道路	道路損壊13箇所	③			
1964	昭和	39年	9月	23～25日	台風(20号)	道路	橋梁流失2箇所	③			
1965	昭和	40年	5月	26～27日	台風(6号)	道路	道路損壊31箇所	③			
							甲府市が被害の中心。負傷者1人、床上浸水30戸、床下浸水316戸、田畑冠水190ha、道路損壊31箇所	①			
				8月		台風	道路	道路土砂崩れ7箇所	③		
				9月	9～10日	台風(23号)	道路	道路損壊24箇所・橋梁流失2箇所	③		
								被害は県南部で多く発生。負傷者2人、家屋全壊1戸、半壊7戸、道路損壊24箇所、農作物6,286haなど被害総額7億1140万円	①		
					9月	13～17日	台風(24号)	道路	道路損壊115箇所・橋梁流失31箇所	③	
						5～9月	台風6・17・23・24号	昭和40年災害	甲府盆地以西では大雨により浸水家屋、田畑の流失・埋没・冠水が多く、各所で道路や堤防の決壊、橋の流失があり交通が麻痺した。死者1人、負傷者7人、家屋全壊4戸・半壊34戸、床上浸水107戸、床下浸水666戸、耕地被害213ha、堤防決壊24箇所、道路破損115箇所、橋梁流失31箇所、通信施設745回線	①④	
					6月	27～28日	台風(4号)		死者1人、行方不明1人、負傷者3人、床上浸水249戸、床下浸水1,449戸、田畑流失・埋没・冠水3,835ha、河川419箇所、道路347箇所、橋梁17箇所、被害総額20億525万円	①④	
					7月	22日	寒冷前線・大雨		甲府市・東山梨郡の一部に局地的豪雨。甲府市北部の山間地で山崩れが各所で発生。死者1人、負傷者57人、住家全壊25戸・半壊79戸、床上浸水1492戸、床下浸水13036戸、河川152箇所、道路20箇所、橋梁20箇所、田畑流失・埋没41ha、農作物2,063ha、被害総額41億6598万円	①④⑧	
								道路	道路損壊645箇所・橋梁流失189箇所	③	
			9月	21～25日	台風(26号)	洪水	芦川・笛吹川上流地などで大きな山崩れが発生、一部落全滅などを始め大惨事となった。笛吹川で破堤・欠損など	③			
				25日	昭和41年災害	山地では各地で山崩れ・山津波が多数発生。足和田村根場・西湖地区が壊滅的被害。死者143人、行方不明32人、負傷者252人、家屋全壊・流失322戸・半壊646戸、床上浸水2647戸、床下浸水12536戸、道路645箇所、橋梁流失189箇所、通信施設444回線、田畑流失・埋没・冠水3,270ha、被害総額275億円	①④				
					南部町	御坂山系を中心とした各地に大被害、土木被害額104億円余。特に西湖畔の足和田村根場付近が激甚な被害、公共土木施設の被害2968ヶ所、死者・負傷者427人	⑧				
1967	昭和	42年	8月	1日	大雨、ひょう	南部町	中小河川で氾濫、山崩れ、土石流、旧南部町では中小河川の氾濫、内船居里で土石流、女自死亡	⑨			
1968	昭和	43年	7月		台風	道路	道路損壊17箇所	③			
			8月	9日	雷雨		甲府盆地を中心に激しい雷雨。甲府市の藤川が氾濫、床下浸水143戸	①			
			7月	5日(05:38)	地震(M5.3)	震央：山梨県南部	南都留郡飯沢町の剣道土砂崩れ1箇所、土埋没20a。震度：最大Ⅲ、甲府Ⅲ、河口湖Ⅲ	①			
						道路	道路損壊28箇所	③			
					8月	25～29日	台風(10号)		主な被災地は富士川流域。床下浸水25戸、道路損壊28箇所、果実落下・稲の倒伏・桑・野菜など180ha、被害総額2億5000万円	①	
							南部町	戸栗川流域ほかで河川氾濫、山崩れ、土石流。旧南部町では河川氾濫20ヶ所、戸栗川支流で崩壊・土石流	⑨		
					6月	26日	大雨(日本海低気圧)		県南部で大雨。家屋半壊2戸、床下浸水5戸、農業被害509ha、被害額7726万円	①	
					7月		台風	道路	道路損壊24箇所	③	
								道路	道路損壊14箇所	③	
					8月	7/31-8/5	台風(7号)	洪水	川内地方・早川入で土砂崩れ、富士川・笛吹川で法面崩壊・堤脚洗掘	③	
			8月	20日	寒冷前線、雷雨		県南部で林道の崩壊が多数発生。盆地東部の果樹や野菜、富士五湖地方の高原野菜に被害。負傷者1人、家屋一部破損等16戸、床上浸水5戸、床下浸水34戸、田畑流失・冠水53ha、農作物4,800ha、通信施設150箇所	①			
			6月	14～16日	梅雨前線		甲府市南部・南東部の低地で床下浸水231戸、県東部・南部で落雷による停電23000戸	①			
		1970	昭和	45年	8月		床上浸水6戸、床下浸水182戸、田畑流失・冠水178ha、土木関係340箇所、通信300回線、被害総額12億6602万円	①			
					道路	道路損壊305箇所・橋梁損壊10箇所	③				
					洪水	富士川・笛吹川で護岸根固流失・河岸欠損など	③				
1971	昭和	46年	7月	6～8日	台風(13号)		上九一色村で局地的豪雨。床上浸水24戸、床下浸水256戸、田畑流失・冠水259ha、被害総額5億881万円	①			
			7月	23日(07:07)	地震(M5.3)	震央：山梨県東部	住家等一部破損4戸、非住家1戸、道路1箇所、山・崖崩れ5箇所、北都留・南都留郡内で窓ガラス破損、壁剥落、屋根瓦落下。震度：最大Ⅲ、甲府Ⅲ、河口湖Ⅲ	①②			
			7～9月		台風	道路	道路損壊240箇所・橋梁損壊10箇所	①			
			9月	26日	台風(29号)		甲府市内を中心に家屋の浸水被害あり。床上浸水4戸、床下浸水63戸、田畑流失・冠水3ha	③			
1972	昭和	47年	7月		台風(6号)	洪水	富士川・笛吹川・御勅使川で洗掘	③			
				9～12日	梅雨前線・大雨		県南部・東部を中心に被害。死者1人、建物半壊2戸、床上浸水9戸、床下浸水14戸、道路損壊19箇所、耕地41ha	①④			
			7月	14～15日	台風(6号)		死者1人、建物負傷者1人、建物半壊1戸、床上浸水1戸、床下浸水18戸、崖崩れ39箇所、被害総額15億5519万円	①			
			7月	22～24日	台風(9号)		甲府盆地内の浸水被害が目立った。家屋半壊1戸、床上浸水12戸、床下浸水215戸、水田11ha、農作物被害101ha	①			

			7～9月		台風	道路	道路損壊511箇所・橋梁損壊25箇所	③	
			9月	14～17日	台風 (20号)		死者2人、負傷者16人、住家全半壊29戸、床上浸水18戸、床下浸水356戸、河川159箇所、道路199箇所、農作物12,532ha	①④	
1973	昭和	48年	9～10月		秋雨前線・集中豪雨	道路	道路損壊29箇所	③	
1974	昭和	49年	7月	4～7日	台風(8号)、梅雨前線		負傷者1人、住家全壊2戸、床上浸水1戸、床下浸水122戸、耕地冠水3ha、橋梁流失2箇所	③	
			7～9月		台風	道路	道路損壊488箇所・橋梁損壊22箇所	③	
			8月	17日			昭和49年災害		⑧
1975	昭和	50年	8月	8/30-9/2	台風(16号)		死者1人、負傷者2人、床上浸水3戸、床下浸水61戸、農林業6278万円	①	
			6月	10日	雷雨		甲府市を中心に局地的な大雨。床上浸水3戸、床下浸水209戸、土木施設17箇所、農林業用施設53箇所、被害総額1億9465万円	①	
			7月	3～4日	南岸低気圧、梅雨前線		死者1人、床上浸水1戸、床下浸水90戸、耕地冠水75ha、農業用施設97箇所、林業用施設272箇所、道路損壊52箇所等、被害総額8億159万円	①④	
			7～8月		梅雨前線・台風	道路	道路損壊341箇所・橋梁損壊12箇所	③	
1976	昭和	51年	8月		台風(6号)	洪水	富士川・笛吹川で河岸洗掘など	③	
			6月	16日(07:36)	地震(M5.5)	震央：山梨県東部	県東部で住家等一部破損77戸、道路22箇所、河川1箇所、田畑31箇所、農業用施設79箇所、商工被害7件、水道施設1件、その他5件。震度：最大IV、甲府III、河口湖IV	①②	
			9月		台風(17号)	道路	道路損壊309箇所・橋梁損壊12箇所	③	
1977	昭和	52年	9月	7～14日		洪水	富士川・笛吹川で河岸洗掘など	③	
			8月	18日	熱帯低気圧・大雨		死者1人、床上浸水7戸、床下浸水601戸、耕地流失・埋没・冠水243ha、農業用施設501箇所、道路278箇所、河川352箇所、橋梁12箇所等、被害総額45億1414万円	①④	
			8月	16～18日		洪水	富士川・笛吹川で河岸洗掘など	③	
			9月	7日	台風9号	昭和52年災害	死者1人、床上浸水406戸、床下浸水1717戸、耕地冠水1,332ha、農業用施設588箇所、道路損壊18箇所、河川388箇所、橋梁4箇所、被害総額50億9638万円	①④	
1978	昭和	53年	9～11月		台風	道路	道路損壊396箇所・橋梁6箇所	③	
			1月	14日(12:24)	地震(M7.0)	震央：伊豆大島近海	「1978伊豆大島近海地震」。南都留郡忍野村で水道用施設1箇所、農道1箇所、被害額4000万円。震度：最大V、甲府III、河口湖III	①	
			7月	8日	雷雨		甲府盆地を中心に局地的な大雨。行方不明1人、床上浸水154戸、床下浸水1484戸、農業用施設27箇所、停電20000世帯、被害総額8億444万円	①	
1979	昭和	54年	7～10月		雷雨、大雨	道路	道路損壊40箇所	③	
			9月	9/24-10/1	台風(16号)		住家半壊2戸、道路24箇所、農作物958ha、被害総額4億9202万円	①	
			9～10月		台風	道路	道路損壊387箇所・橋梁損壊13箇所	③	
			10月	6～7日	台風(18号)	洪水	富士川・笛吹川で河岸洗掘など	③	
						農業用施設55箇所、林地222箇所、道路67箇所、河川191箇所、被害総額18億9908万円	①		
			10月	18-19日	台風(20号)	洪水	富士川・笛吹川で河岸洗掘など	③	
1981	昭和	56年	10月	18日		昭和54年災害	負傷者8人、住家4戸、半壊3戸、床上浸水32戸、床下浸水257戸、農作物928ha、農業用施設311箇所、道路283箇所、林業用施設272箇所、橋梁10箇所、河川343箇所、被害総額78億8393万円	①	
			4月	14日(19:09)	地震(M4.5)	震央：山梨県東部	都留市金井で石垣崩壊1箇所(山梨日日新聞)。震度：最大III、甲府III、河口湖III	①	
			8月	22-23日	台風(15号)	洪水	富士川で河岸洗掘など	③	
1982	昭和	57年				国道20号	上野原町新田倉地先で路肩石横擁壁崩壊。上野原町四方津地先で土砂崩落(3,000㎡)、大月市笹子町久保地先で道路決壊(L=110m)	③	
						国道52号	富士川・早川・浅利川・滝戸川・重川で河岸洗掘など	③	
			8月	1～3日	台風(10号)、梅雨前線、低気圧	洪水	死者7人、負傷者31人、住家全壊30戸・半壊35戸、床上浸水527戸、床下浸水1143戸、河川1340箇所、道路1125箇所、橋梁56箇所、耕地流失・埋没・冠水374ha、被害総額868億8218万円	①④	
				2日			早川流域に大災害発生	⑧	
						南部町	旧南部町全域で道路決壊、橋梁流失、耕地埋没、家屋浸水。旧南部町では町道佐野線決壊3ヶ所、万葉橋流失、富栄橋変形、下井出地区水田埋没	⑨	
			9月	10～12日	台風(18号)	洪水	富士川で河岸洗掘など	③	
1983	昭和	58年	9月		台風(10・18号)、低気圧、前線		行方不明1人、負傷者4人、住家全壊4戸・半壊6戸、床上浸水271戸、床下浸水836戸、河川388箇所、道路308箇所、橋梁22箇所、農作物1,867ha、農業用施設555箇所、通信回線637回線、被害総額115億6876万円	①④⑧	
			8月	8日(12:47)	地震(M6.0)	震央：山梨県東部	台風10号・18号などにより河口湖の水位が上昇し続け、基準水位より103cm高くなり、湖畔道路、公園、ホテル、文化施設などが浸水	①	
						国道52号	身延町小田船地先で路肩流失(150㎡)。富士川・重川で河岸洗掘など	③	
			8月	14-17日	台風(5・6号)	洪水	6号が先行上陸。被災地は18市町村に及び、富士吉田市・河口湖町に災害救助法適用。死者2人、負傷者22人、住家全壊12戸・半壊68戸、床上浸水534戸、床下浸水2651戸、河川986箇所、道路483箇所、橋梁26箇所、耕地流失・埋没106ha、被害総額282億5925万円	①④	
1984	昭和	59年	9月	14日(08:48)	地震(M6.8)	震央：長野県西部	南部町	富士川・戸栗川流域で河川増水、橋梁落下。旧南部町では火祭り「百八たい」流失、戸栗川橋歩道橋落下	⑨
						国道20号	白州町上教米石地先で新国界橋橋脚基礎洗掘	③	
1985	昭和	60年	9月			洪水	富士川で河岸洗掘など	③	
			7月	6/29～7/1	台風(6号)		「昭和59年(1984年)長野県西部地震」。南巨摩郡を中心に道路23箇所(国道8、市町村道15)の被害。(山梨県防災会議地震部会資料)。震度：最大IV、甲府IV、河口湖III	③	
1986	昭和	61年	8月	4-5日	台風(10号)		富士川で河岸洗掘など	③	
			9月	2-3日	台風(15号)	国道20号	上野原町新田倉地先で土砂崩落(50㎡)	③	
							道路25箇所、河川53箇所、被害総額8億4823万円	①	
1988	昭和	63年	3月	18日(05:34)	地震(M6.0)	東京湾	甲府市、中巨摩・南巨摩・東八代・西八代郡の9市町村17000世帯で2分間の停電(山梨日日新聞)。震度：最大IV、甲府III、河口湖IV	①	
			9月	5日(00:49)	地震(M5.6)	震央：山梨県東部	富士吉田市で上水道濁り供給停止、石垣崩落3箇所(大月市1、南都留郡西桂2)(山梨日日新聞。震度：最大IV、甲府IV、河口湖IV)	①②	
			9月	24-25日	南岸低気圧、前線		農業施設57箇所、道路71箇所、河川213箇所、被害総額38億8910万円	①	
1989	平成	元年	7月	7/29-8/1	台風(12号)	県東部	県東部で公共土木施設や農業用施設に被害が発生。農業用施設27箇所、道路88箇所、河川92箇所、被害総額38億7112万円	①	
			8月		台風(17号)	国道52号	身延町波木井地先で路肩土砂流出(5,600㎡)	③	
				26-27日		洪水	笛吹川で河岸洗掘など	③	
			9月	2-4日	日本海低気圧、前線	県南部	床下浸水77戸、道路80箇所、河川164箇所、農林業用施設158箇所、被害総額35億174万円	①	
1990	平成	2年	8月	20日(15:53)	地震(M6.5)	震央：伊豆大島近海	石和観測所で警戒水位を越え2.37mを記録	③	
			8月		台風(11号)	洪水	県南部を中心に雷雨。負傷者2人、床上浸水6戸、床下浸水326戸、道路83箇所、河川45箇所、被害総額16億1457万円	①	
			9月	19-20日	台風(19号)	洪水	北都留郡上野原町で土砂崩れ、道路不通1箇所、河川護岸崩壊1箇所、被害額6540万円。震度：最大IV、甲府II、河口湖III	①	
			9月		台風(20号)	洪水	富士川・笛吹川・天川で河岸洗掘など	③	
				30日			床下浸水3戸、農業用施設233箇所、道路110箇所、河川252箇所、被害総額68億1692万円	①	
			8月	20-21日	台風(12号)	洪水	富士川・笛吹川・早川・鎌田川・浅利川で河岸洗掘など	③	
1990	平成	2年	8月		台風(12号)	洪水	県南部を中心に被害が出た。負傷者1人、住家全壊2戸、床上・床下浸水107戸、農業用施設73箇所、道路59箇所、河川33箇所、被害総額19億529万円	①	
			8月		台風(12号・14号)	国道20号	富沢町大字富士字真篠で土砂崩落(200㎡)	③	
			8月			国道20号	2観測所で警戒水位、2観測所で指定水位を越え、清水端で3.50mを記録	③	
1990	平成	2年	8月		台風(12号)	洪水	床下浸水18戸、道路32箇所、河川25箇所、被害総額12億3073万円	①	
			8月		台風(12号)	洪水	大月市初狩町下初狩で土砂崩落(700㎡)、被災8名(死者4名、軽傷1名)	③	
			8月		台風(12号)	洪水	富士川で河岸洗掘など	③	
			8月		台風(12号)	国道20号	台風の間接的影響による大雨。東部・富士五湖地方に被害大、死者7人、行方不明1人、負傷者3人、住家全壊3戸・半壊13戸、床上浸水148戸、床下浸水440戸、河川248箇所、道路172箇所、農業用施設141箇所、被害総額127億5170万円	①④	
1990	平成	2年	8月		台風(12号)	国道20号	大月市初狩町下初狩で土砂崩落(50㎡)	③	
			8月		台風(12号)	国道20号	大月市初狩町下初狩で土砂崩落(50㎡)	③	

1991	平成	3年	8月		台風 (14号)	洪水	釜無川で河岸洗掘など	③				
				30-31日			床上浸水3戸、床下浸水5戸、農業用施設37箇所、道路20箇所、河川46箇所、被害総額21億6964万円	①				
			9月		台風 (18号)	国道52号	身延町波木井で橋脚洗掘傾斜 (1基)、上部工沈下 (L=40m)。身延町下山で擁壁倒壊 (L=22m)。身延町小田船原で擁壁仙窟倒壊 (L=30m)	③				
						洪水	富士川・笛吹川・早川・鎌田川・浅利川で河岸洗掘など	③				
				18-19日		県中央部から南部山沿い	県中央部から南部の山沿い地方で被害大。芦川村に土砂崩れ・土石流、六郷町で地すべり発生、死者1人、行方不明1人、負傷者2人、住家全壊10戸・半壊2戸、床上浸水94戸、床下浸水632戸、河川296箇所、道路184箇所、田畑流失・埋没37ha、農業用施設201箇所、被害総額132億5589万円	①④				
			9月		豪雨	国道52号	身延町波木井で土砂崩落 (1,500㎡)。南部町大和で土砂崩落 (3,700㎡)。南部町万沢で法面崩落 (1,500㎡)。南部町中野で法面崩落 (2,500㎡)	③				
			8-10月		台風・前線の長雨	富士五湖地方	富士五湖地方の降水量は平年の3倍前後となり、河口湖を除き各湖とも基準水位を上回り湖畔道路や住家、公共施設などに冠水や浸水の被害。住家床上浸水7戸、床下浸水6戸	①				
			1992	平成	4年	12月	8日	低気圧、大雨	富士山	富士山6合目付近で大雨による融雪で大規模な土石流が発生し、山梨県富士山安全指導センターが全壊、兼営富士山有料道路が4箇所で土砂に埋った	①	
			1993	平成	5年	7月		集中豪雨		鵜沢町柴町で土砂流出 (100㎡)。鵜沢町箱原で土砂流出 (250㎡)	③	
							25-26日	台風(4号)、梅雨前線	県中・西部	県の中・西部を中心に被害が出た。床下浸水48戸、道路49箇所、河川109箇所、被害総額21億6826万円	①	
1996	平成	8年	3月	6日 (23:35)	地震(M5.3)	県東部	県東部を中心に被害は13市町村に及び、特に都留市、山中湖村で住家被害大、負傷(軽傷)3人、住家一部破損86戸、水道被害3901戸、ガス被害(供給停止)200戸、鉄道不通3箇所等、被害総額1億4971万円。震度：河口湖5、下部4、甲府3	②				
			9月	21-22日	台風(17号)		住家半壊10戸、耕地流失・埋没1ha、道路29箇所、山・崖崩れ1箇所、農業被害3ha、被害額26億6000万円	②				
1997	平成	9年	6月	20日	台風(7号)、前線		住家全壊1戸、道路損壊10箇所、山・崖崩れ169箇所、農業被害94ha、林業被害166箇所、被害額5億9774万円	②				
1998	平成	10年	8月	26-31日	台風(4号)、前線		住家半壊5戸、床上・床下浸水17戸、耕地冠水7ha、道路損壊64箇所、鉄軌道被害1箇所、山・崖崩れ133箇所、農林業被害191箇所、被害総額34億466万円	②				
			9月	15-16日	台風 (5号)	洪水	富士川・笛吹川・重川で河岸洗掘など	③				
							死者1人、住家半壊17戸、床上浸水43箇所、床下浸水274戸、耕地流失・埋没2ha、道路損壊150箇所、鉄軌道被害3箇所、山・崖崩れ6箇所、農業被害3978ha、林業被害179箇所、被害総額73億5496万円	②				
1999	平成	11年	8月		熱帯低気圧	洪水	富士川で河岸洗掘など	③				
2000	平成	12年	9月		秋雨前線豪雨	洪水	富士川で河岸洗掘など	③				
2001	平成	13年	9月		台風 (15号)	洪水	富士川で河岸洗掘など	③				

※) 月日(日本暦) が西暦と異なる明治3年以前について西暦で示した

[文献]

- ① 甲府地方気象台(平成6年8月): 山梨県の気象百年
- ② 甲府地方気象台(平成15年2月): 防災担当者向け「防災情報の手引き」
- ③ 国土交通省関東地方整備局甲府工事事務所: 甲府工事事務所80年の軌跡
- ④ 財団法人山梨県建設協会(平成15年3月): 七十年のあゆみ ~未来への礎~
- ⑤ 河西秀夫: 山梨県の過去の大規模地震被害の研究(河西研究室ホームページ)
- ⑥ 財団法人山梨県治山協会(昭和42年4月10日): 山梨の治山 創立二十周年記念誌
- ⑦ 静岡県(平成8年3月25日): 静岡県史 別編2 自然災害史 本部および付録自然災害年表
- ⑧ 社団法人山梨県建設技術センター(昭和58年3月31日): 山梨県土木部百年の歩み
- ⑨ 南部町(平成11年): 南部町誌